

おひさま時計のつくり方

年 組 名前 ()

きっかけ

どうしてしらべようと思ったのか、
きっかけになったことを書こう。

しらべたいことがわかるような
タイトルをつけよう。

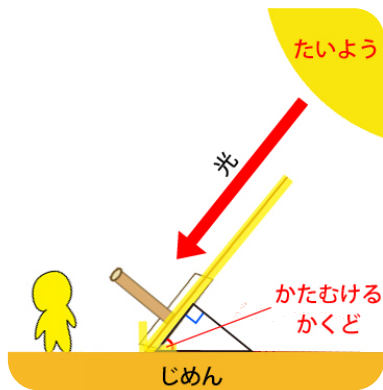


おひさま時計をつくってじめんにおいたら、
時間によってかげのできるかんかく(かくど)がちがった。
もっとほんものの時計のように、
かんかくが同じになるおひさま時計をつくりたいと思った。

じっけんのやり方

つけたものや、しらべるやり方を
書こう。絵やしやしんもつかうと
わかりやすいぞ。

ダンボール紙とわりばしでおひさま時計をつくり、たいようの光と
ダンボール紙がへいこうになるように、おひさま時計をかたむける。
つぎの日、一時間おきに、かげができたところにしるしをつけて、
時間をきろくする。



よそう

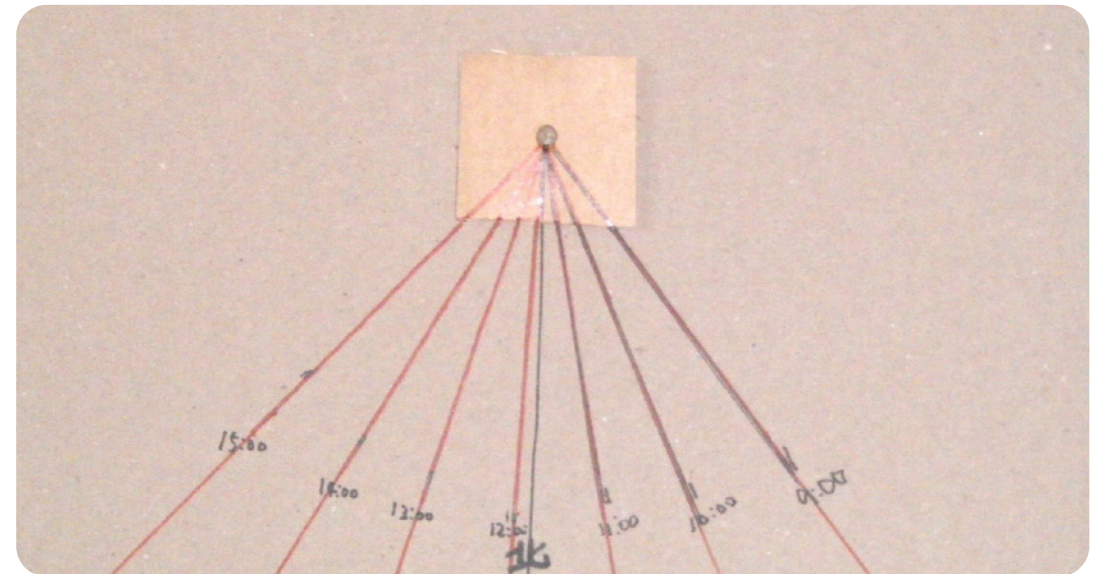
しらべる前に、けっかをよそうして書く。
よそうした理由も書こう。

かげのかんかく(かくど)は同じになると思う。

けっか

じっけんのけっかだけを書く。
表やグラフ、しやしんをつかうとわかりやすいぞ。

かんかく(かくど)がほぼ同じかげができた。



わかったこと

けっかからわかったこと、かんがえた
ことを書く。よそうとちがったときは、
どうしてそうなったのかかんがえてみよう。

かげは6時間で90度くらいごいたので、
24時間(1日)では360度(いっかいてん)になることがわかった。

まとめ

けっかとわかったことをまとめて、
つぎにしらべてみたいことを書こう。

たいようの光とへいこうになるようにかたむければ、ほんものの時計のように、
同じかんかくですすむおひさま時計ができた。
きせつがかわるとどうなるのかもしらべてみたい。